

平成3年6月24日

区職員のボランティア精神を

「研修」としてバックアップ

豊島区職員ボランティア体験研修始まる

24日(月)から、区立特別養護老人ホーム「山吹の里」(社会福祉法人 シルバーセンター豊島へ運営を委託・高田3-37-17)において、豊島区職員ボランティア体験研修が始まった。

これは、ボランティア活動の体験を希望する区職員を「研修」という形で、「山吹の里」へ5日間(月～金曜)派遣するもの。今年度は、1回4名ずつ12回合計約50名の派遣を予定している。

新任研修など職層による研修命令として実施するのではなく、あくまでも職員の自主的なボランティア活動を通して、急速に進む高齢社会への意識改革を促そうとする初の試みとして注目される。

派遣された職員は、特別養護老人ホーム及び併設のデイホームで、食事の介助・入浴の手伝い・趣味活動の補助・清掃など、特養ホームでのおむつ交換を除く様々な仕事を体験する。

区職員課は、「ボランティア活動の必要性を認識した上で、職員の自主性を重んじながら、今後さらに増大する福祉ニーズに的確に対応できる職員を多数育成していきたい」と、来年度以降も引き続き実施したい考えである。

一方、区職員を迎え入れる「山吹の里」では、「区職員の方一人ひとりには、5日間という短い体験期間ですが、お年寄りと直接接することにより、お年寄りに対する関心と理解を持って帰ってもらいたい」と語る。

今回の試みが、ボランティア活動の大きな広がりになることが期待される。

問合せ 職員課研修係